

さくらっこ便り 2019年2月16日号

さくらっこ広場通信 第48号

味噌煮込みうどんを作りました！

寒い日が続いていますが、9組22名の親子の皆さんと、学生達はこども保育コース2年生2名、食物栄養専攻1年生2名、キャリア教養学科1年生2名と、今日も全員で29名のにぎやかな広場でした。

保育コースの2年生は、3月9日の卒業式を控えて、今日は最後の広場になります。皆さんのおかげで、卒業研究(特別研究)を仕上げることができた学生たちが多くいます。特に、狩野の特別研究グループの学生たちは、保護者の皆さんへのインタビューや、子どもさんたちの育ちの経過を記録させていただきながら、自分たちのテーマを掘り下げることができました。本当にありがとうございました。

また、「福祉学」のボランティアワークで参加した食物栄養専攻やキャリア教養学科の1年生たちは、続けて3回4回と参加した学生もいて、子どもたちの名前も覚えて、とても楽しく遊ぶことができるようになりました。食物栄養専攻の学生たちは、今日も朝から味噌煮込みうどん作りの準備をしてくれて、子どもたちがどうしたら安全に楽しく参加できるか、一生懸命考えていました。学生たちの成長も、毎回目に見えて、印象的でした。

今回は、学生が多く参加できる最終回でもあったので、手作り味噌をたっぷり使って、二鍋うどんと、お好みでラーメンもゆでで見ました。いっぱい遊んだ後は、みんな食べること、食べること・・・本当に感激です。ペロリと全部なくなりましたから・・・



ナイフや包丁を使って、一生懸命野菜を切ってくれている、Sちゃん、Sちゃん、Hくんです。ニンジンも、電子レンジで柔らかくして、切りやすく準備していました。食物の学生が、手元に注意を払いながら、子どもに任せられるところはしっかり任せています。「おうちでは難しい」ことも、みんなの目があるところで、子どもたち同士意識しながらだと、楽しく取り組むことができると、学生たちも学んでいます。



Y君とお姉さんが作ったのは二、トーテムポールかな？この後、ダーン！！と倒しました。



3人で、かごに向けて「玉入れ」を始めました。とても楽しそうでした。

Yくんのお話がとても面白い！と、感心していたキャリア教養学科のお姉さんたちです。「遊び」や、子どものかかわりを心から楽しんでいる様子です。



サランラップの芯は、調理室の助手さんからもらっています。Rくんがつけて、何をするのかと思えば、ピアノ室の上に乗ったボールや紙飛行機をとっています。お姉さんたちが、足場を支えます。



救急車と消防車をがっちりと握りしめたSくんに対して、くやしがるMくんです。



お父さんになだめられて、今度はしっかり自分のペースで二人とも遊びます。ちゃんと、気持ちを立て直すことができるようになったのですね。すごい！
救急車と消防車は離しませんでした。これもお見事！



こちら、思い切り「カオス」になってきました。



狭いピアノ練習室に、何人入っているのでしょうか。お姉さんのことを、AくんとHくんは「かんとく」と呼び始めました。ちょっとだけ、尊敬の意味を込めていたのでしょうか？



Mくんは、ティラノサウルスやプテラノドンやらどんどん描いています。



Sちゃんがお姉さんの顔を描いてくれたので、お姉さんがせいちゃんの顔をお礼に描きました。すてき！



Sちゃんは、ハンドバッグにお守りを作ってつけています。黄色いテントウムシを作って、お姉さんにプレゼントしてくれたんですって。
みんな、作ったものや描いた絵を、お姉さんたちにプレゼントしてくれるのです。
うれしいですね。本当にありがとう！



Nちゃんは、ままごとでごちそうを作り始めました。女子力を発揮します。



だんだん調子が出てきた R ちゃんです。帰る頃には、非常階段を元気よくお兄ちゃんの後を追いかけて登っていました。いっぱいお話もしていますよ。



Tくんは、かなりポカリスエットを飲みました。でも、味噌ラーメンをお替りして食べてくれました。スープも飲んでいましたよ。ラーメンが大好きなのですって。



笑顔でこちらを見て「狩野先生、糊かしてください」と、Mくんに言われました。なんと、大きな乗り物絵本の表紙がはがれたところを、直してくれたのです。几帳面なのですね。ありがとう！お話がとても上手になってきましたよ。



お母さんたちのお話に花が咲いているうちに・・・



めでたく、味噌煮込みうどんができました。今日も本当に楽しかったね。
いただきます！

<3月の予定>

3月16日(土) 2月・3月の誕生会
23日(土) 春を探そう

<連絡先>

狩野奈緒子 (桜の聖母短期大学)

naoko-k@ssjc.ac.jp